



# 医局だより

聖マリアンナ医科大学 乳腺・内分泌外科

黒田 貴子



このたびは施設紹介の機会をいただきありがとうございます。  
とうございます。

現在の医局員の状況を下記にまとめました。

- 教授：津川 浩一郎（つがわ こういちろう）
- 医局員：常勤医師25名（男：女、8：17）、  
非常勤医師12名
- 平均年齢：40.16歳（20代3名、30代9名、  
40代6名、50代以上5名）
- 子育て中（中学生以下）：男性3名、女性5名
- 専門医：外科専門医 14名、乳腺外科専門医  
10名

聖マリアンナ医科大学病院は地域の中核病院および教育研修病院であり、乳腺・内分泌外科は大学病院、プレスト&イメージングセンター、川崎市立多摩病院、横浜市西部病院の4施設で診療を行なっています。現在、大学病院は新病院を建設中であり、2023年1月に開院予定です。「多様な高次機能を備え、人に優しく、働きやすく、社会の変化に柔軟に対応できる未来志向型病院」を目指しています。

昨今のコロナウィルス感染症の流行により、当院ではコロナ病床を設け各診療科から医師を

# 医局だより

派遣しコロナ診療を強化しておりました。2020年度、2021年度の手術件数は、第2波時に月60件程度へ減少したもののその後は2019年と変わらず月70~80件を維持し、2020年3月以降は2019年度を上回る勢いで件数が増えています。コロナ禍においても乳癌診療を継続し、地域のがん拠点病院としての責務を果たしています。

当医局の特徴を以下に記します。

## ① 子育て世代の活躍

当科は「みんなが働きやすい医局」を目指しております。子供のいる女性医師はもちろん男性医師も積極的に子育てへ参加し、またプライベートが充実するように配慮しています。子育て中の医師も、積極的に主治医として診療を行なっています。カンファレンスはWeb参加も可能であり、子育てと仕事の両立を可能としています。

## ② 教育カリキュラム

単科でありながら、消化器一般外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科で外科ローテーションを行い、様々な症例を経験することが可能です。また、当科では年間700例程度の手術症例を有し、乳腺領域の経験を多く積むことができます。

## ③ 聖マリアンナ医科大学附属研究所 プレスト & イメージング 先端医療センター附属クリニック (プレスト&イメージングセンター)

新百合ヶ丘駅徒歩5分の場所に、乳腺診療及び画像診断に特化した専門施設であるプレスト&イメージングセンターを2009年3月に開院いたしました。診断のみならず、抗がん剤治療、再発治療、日帰り手術など大学病院のバックアッ



プのもと高度な医療を提供しております。

## ④ がん・生殖医療 (妊孕性温存)

産婦人科と月一回のカンファレンスを行い、妊孕性温存や遺伝性乳癌卵巣癌症候群(HBOC)についての症例検討、議論を行なっています。

## ⑤ 遺伝診療及びがんゲノム医療

当院ではHBOCの方へのリスク低減手術(対側乳房切除、卵巣卵管切除)を行っています。遺伝診療部と連携し遺伝カウンセリングやご家族へのケアなどを行っています。また、最近ではがんパネル検査も積極的に行われ、そのGermline変化に基づく遺伝診療部へのコンサルテーションも増えています。

## ⑥ 緩和医療

2021年8月に、当院には緩和医療学講座が開設されました。当科では緩和医療学講座と連携し乳癌患者に対する緩和医療を行なっております。また、患者中心の医療を実現するた

## 医局だより

めに、新しい試みとして乳腺外科チームによる Advance Care Planning の専門外来を立ち上げる予定です。

神奈川県北東部の多くの人口を抱えるエリアに位置しています。多くの患者さんにご来院いただき忙しい毎日ですが、それぞれ目標を持ちスキルアップ、キャリアアップに努めていきたいと考えています。お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。今後ともよろしく願いいたします。

□ 2022年1月27日に医局ホームページをリニューアルいたしました。ぜひご覧ください。

